



村の限りない発展のために

清川 市長
岩澤 吉美

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年、日本人が過去最多のメダルを獲得した北京冬季オリンピックや入賞者が倍増したパラリンピック、まだ記憶に新しいカタールでのサッカーワールドカップなど世界規模のスポーツの祭典は、多くの方々に夢と感動を与えてくれました。

一方で、2月に勃発したロシアのウクライナ侵攻は終息が見えず、北朝鮮ではミサイル発射が繰り返されるなど、世界が戦争と平和の

岐路に立たされています。非核平和の村宣言をしている村として、10月には恒久平和推進事業で、村内中学校の生徒たちとともに広島市を訪問し、平和への思いを共有することができました。一日も早く世界から争いがなくなることを願うばかりです。

また、新型コロナウイルス感染症の脅威はなかなか消えず、不安定な世界情勢による原油価格の高騰や長引く円安基調に伴う生活用品の物価上昇は、村民の皆様の生活にも大きな影響を及ぼしています。

このような中でも、村では徹底した感染症対策、継続的な経済支

援対策を実施することで、季節ごとのイベントも3年ぶりの開催に至ったものもあり、活気のある地域づくりに向けて再出発したところです。

村民の皆様との協働による「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、夢と希望に満ちた清川」を目指して、村の限りない発展のために全力を尽くしてまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



「卯」という字は、門を無理に押しあけて中に入りこむ様子を表した字で、茎や葉が大きくなる状態を表し、「卯年」は目に見えて大きく成長する年と言われています。

また、「卯」は「つなぎ」があてられ、跳ねる特徴から、飛躍する年でもあります。



「つなぎ」は、ぶうぶうなどの音を発しますが、実は声帯がなく、鳴き声ではないそうです。鳴かない理由は諸説ありますが、天敵に見つからないように鳴か

令和5年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
 昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大が未だ収束を見せず、国内ではウイズコロナやアフターコロナの政策を模索する中、外出自粛や行動規制の緩和による国民生活や経済活動の地道な復活が見えはじめたようですが、現在も予断を許さない状況ではあります。
 また、国外では昨年2月24日、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、国際平和を根底から脅かす事態が起き、議会として「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」を表明しました。

一方、8月にはメジャーリーグで二刀流として活躍する大谷翔平選手が、1918年のベーブ・ルース以来史上2人目となる同一シーズン2桁勝利・2桁本塁打達成など、明るい話題もありました。
 本村においては、宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどいなどのイベントや各種行事が、少しずつ再開の兆しが見られるようになりましたが、村民の皆様におかれては、まだまだご心配やご不便な思いをされていることと存じます。
 このような中、議会といたしましても村民生活の安全・安心のため、村民の皆様や村執行部と力を

合わせ、皆様が健康で安心して暮らせる村づくりに取り組んでまいりたいと存じます。
 さて、本年の干支は、「癸卯（みづのとら）」といわれ、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になるといわれていますが、全議員がより一層努力し、村発展に向け邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。
 結びに、皆様にとって笑顔があふれ、安全・安心に暮らせる年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



安全・安心の村づくりのために 清川村議会議長 細野賢一

ず、危険は足を地面に叩き付けて、仲間に知らせるそうです。声を出さずに危険を伝えるとは、穏やかで温厚な性質の「うさぎ」らしいさかもしれません。

ちなみにチベットやタイ、ベトナムでは「卯年は「猫」に置き換わっています。諸説ありますが、猫の方が、親しみがあつたためと言われています。これらの国に行くとき「うさぎ」ではなく、猫グッズがたくさん見つかりそうで、楽しいです。「卯年」らしく、目に見えて大きく成長し、楽しいことが溢れる年だと良いですね。

